

## 「令和7年中の危険物施設に係る事故の概要」の公表

令和7年中（1月～12月）の危険物施設に係る事故の発生状況について、とりまとめましたので、その概要を公表します。

## 1 火災事故の発生状況

◆ **火災事故は261件、重大事故は10件**

危険物施設\*<sup>1</sup>における火災事故は261件発生しており、このうち事業所外に物的被害が発生する等の重大事故\*<sup>2</sup>は10件発生しています。重大事故の内訳は、事故発生から鎮圧までの時間が4時間以上の火災事故が6件、事業所外に物的被害が発生した火災事故が3件、死者が発生した火災事故が1件となっています。

\*1 「危険物施設」とは、消防法第11条第2項の規定により許可を受けた施設であり、地下タンク貯蔵所、給油取扱所等がある。（令和7年3月31日現在の危険物施設数（完成検査済証交付施設数）は375,574施設）

\*2 「重大事故」の定義については、本文を参照。

◆ **発生原因は操作確認不十分などの人的要因が多い**

発生原因は操作確認不十分が50件（19.2%）で最も多く、次いで、維持管理不十分が46件（17.6%）、腐食疲労等劣化が28件（10.7%）となっています。

## 2 流出事故の発生状況

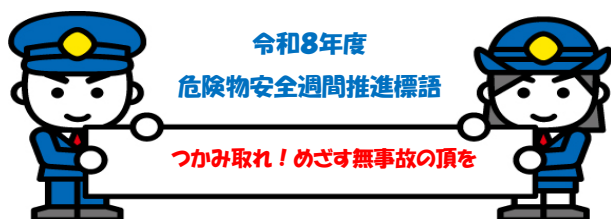
◆ **流出事故は448件、重大事故は10件**

危険物施設における流出事故は448件発生しており、このうち一定量以上の危険物が事業所外へ広範囲に流出する等の重大事故\*<sup>3</sup>は10件発生しています。重大事故の内訳は、一定量以上の危険物が事業所外へ広範囲に流出した流出事故が10件となっています。

\*3 「重大事故」の定義については、本文を参照。

◆ **発生原因は腐食疲労等劣化などの物的要因が多い**

発生原因は腐食疲労等劣化が148件（33.0%）で最も多く、次いで、操作確認不十分が72件（16.1%）、誤操作が32件（7.1%）となっています。



連絡先 消防庁危険物保安室  
羽田野、下田、笹壁  
TEL 03-5253-7524（直通）

# 令和7年中の危険物施設に係る事故の概要

令和8年5月

消防庁危険物保安室

## 危険物施設における事故発生件数の推移等

### 概況

令和7年中（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の事故件数については、火災事故が261件（前年267件）、流出事故が448件（前年486件）となっている。このうち、重大事故\*については、火災事故が10件（前年11件）、流出事故が10件（前年12件）となっている。また、死傷者については、火災事故が死者1人（前年1人）、負傷者44人（前年50人）、流出事故が死者1人（前年1人）、負傷者24人（前年40人）となっている。（第1図、第2図、第3図、第1表参照）

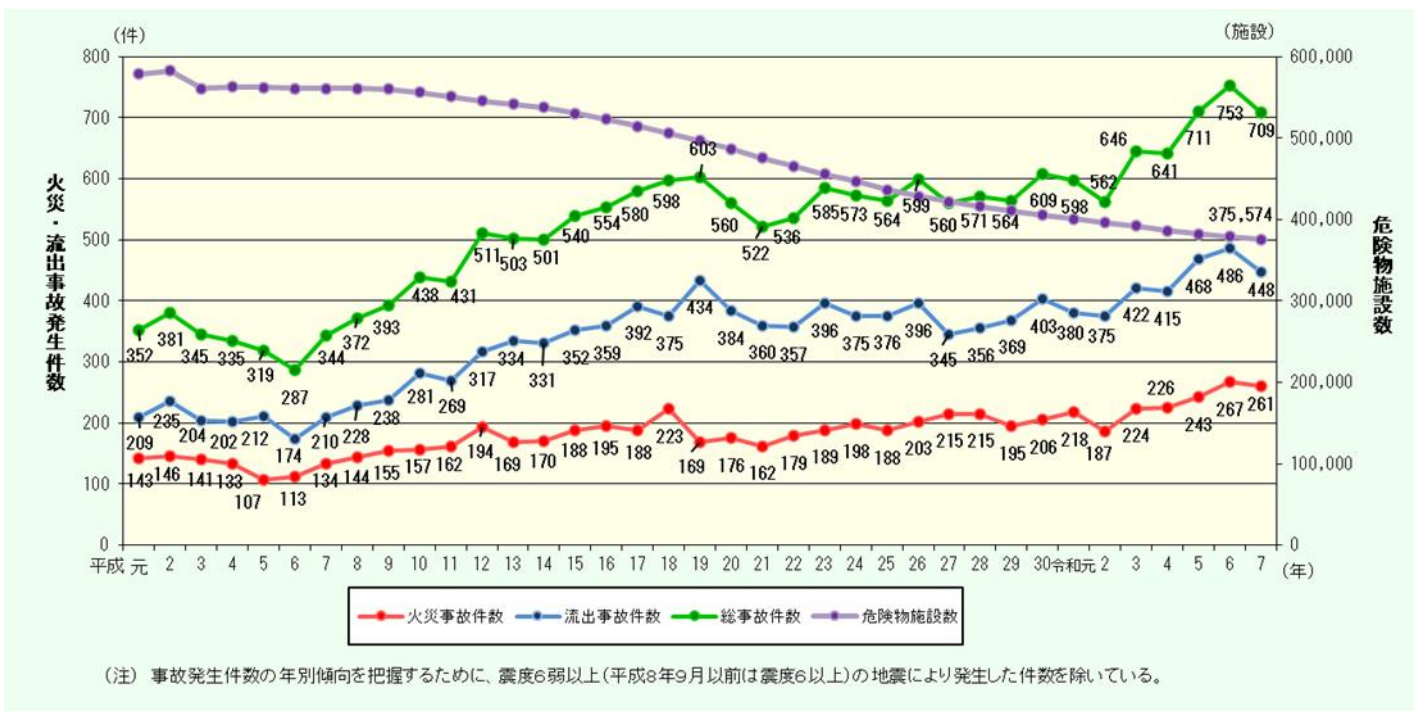
火災事故の発生原因は操作確認不十分が50件（19.2%）で最も多く、次いで、維持管理不十分が46件（17.6%）、腐食疲労等劣化が28件（10.7%）となっている。流出事故の発生原因は腐食疲労等劣化が148件（33.0%）で最も多く、次いで、操作確認不十分が72件（16.1%）、誤操作が32件（7.1%）となっている。（第4図参照）

なお、本概要においては、最大震度6弱以上の地震による被害を除外している。

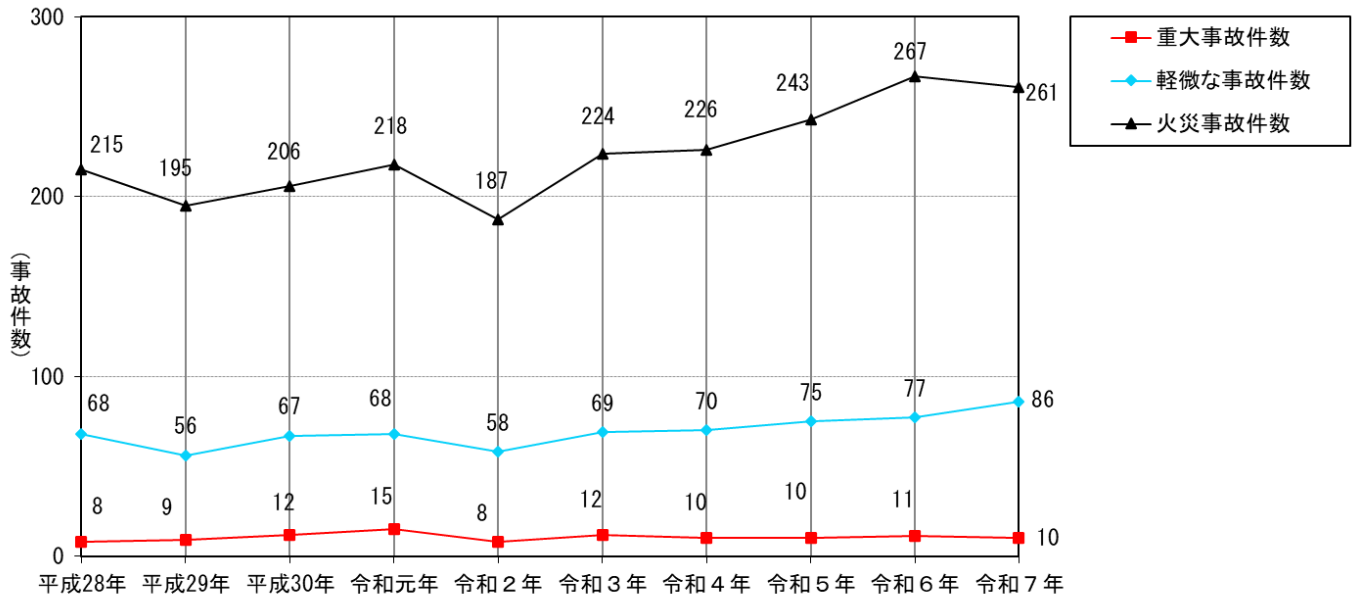
#### \*重大事故

- 火災事故に係る重大事故は次の①～③のいずれかに該当するものをいう。
  - 死者が発生した火災事故（人的被害指標）
  - 事業所外に物的被害が発生した火災事故（影響範囲指標）
  - 事故発生から鎮圧までの時間が4時間以上の火災事故（収束時間指標）
- 流出事故に係る重大事故は次の①又は②のいずれかに該当するものをいう。（令和3年以降）
  - 死者が発生した流出事故（人的被害指標）
  - 一定量以上の危険物が事業所外へ広範囲に流出した流出事故（流出被害指標）
- 交通事故が原因で死者が発生した事故は、死者が発生した火災事故及び流出事故（人的被害指標）に該当せず。

第1図 危険物施設における火災事故・流出事故の発生件数及び危険物施設数の推移



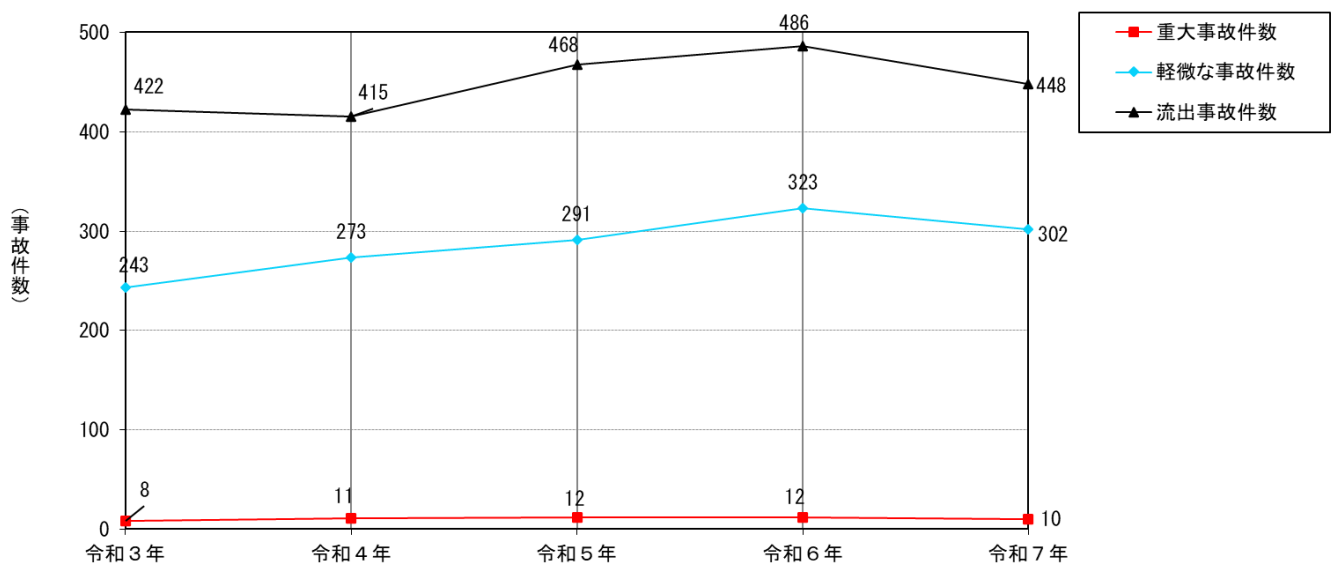
第2図 危険物施設における火災事故に係る事故の件数の推移（最近の10年）



(注) 火災事故に係る軽微な事故は次の①～③の全てに該当するものをいう。

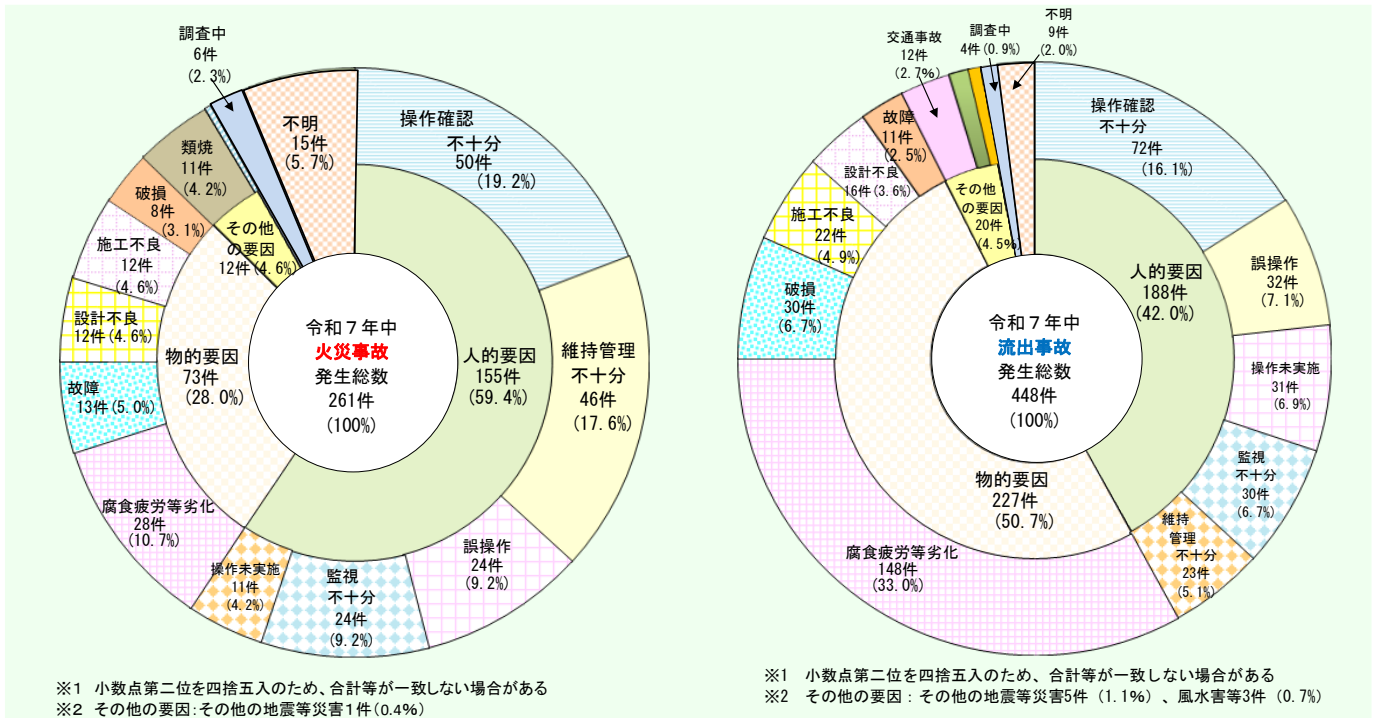
- ① 死傷者なしの火災事故（人的被害指標）
- ② 設備機器内のみに物的被害が発生した火災事故（影響範囲指標）
- ③ 事故発生から鎮圧までの時間が30分未満の火災事故（収束時間指標）

第3図 危険物施設における流出事故に係る事故の件数の推移（最近の5年間）



(注) 流出事故に係る軽微な事故は、死傷者なしの流出事故（人的被害指標）で一定量未満の危険物が事業所内へ流出した流出事故（流出被害指標）をいう。

## 第4図 令和7年中の危険物施設における火災・流出事故の発生原因



第1表 危険物施設における火災及び流出事故の発生件数と被害状況の推移（最近の10年間）

年	事故の態様 発生件数等	火災及び 流出事故 発生件数 (A)+(B)	火災事故				流出事故			
			発生件数 (A)	重大事故	被害		発生件数 (B)	重大事故	被害	
					死者数	負傷者数			死者数	負傷者数
平成28年		571	215	8	2	53	356	54	0	28
平成29年		564	195	9	2	51	369	80	0	29
平成30年		609	206	12	2	120	403	70	0	27
令和元年		598	218	15	1	37	380	59	0	27
令和2年		562	187	8	2	33	375	63	0	23
令和3年		646	224	12	0	36	422	8	1	28
令和4年		641	226	10	2	36	415	11	0	18
令和5年		711	243	10	1	29	468	12	0	11
令和6年		753	267	11	1	50	486	12	1	40
令和7年		709	261	10	1	44	448	10	1	24

第2表 危険物施設における火災事故に係る重大事故の概要（令和7年中）

発生件数等 製造所等の別		重大事故 発生件数	重大事故の内訳			1万施設 当たりの 重大事故 発生件数	被害	
			人的被害 指標	影響範囲 指標	収束時間 指標		死者数	負傷者数
製造所		1	0	1	0	2.01	0	0
貯蔵所	屋内貯蔵所	0	0	0	0	0.00	0	0
	屋外タンク貯蔵所	1	0	0	1	0.18	0	0
	屋内タンク貯蔵所	0	0	0	0	0.00	0	0
	地下タンク貯蔵所	0	0	0	0	0.00	0	0
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0	0.00	0	0
	移動タンク貯蔵所	1	0	1	0	0.16	0	0
	屋外貯蔵所	0	0	0	0	0.00	0	0
取扱所	給油取扱所	0	0	0	0	0.00	0	0
	第一種販売取扱所	0	0	0	0	0.00	0	0
	第二種販売取扱所	0	0	0	0	0.00	0	0
	移送取扱所	0	0	0	0	0.00	0	0
	一般取扱所	7	1	1	5	1.23	1	3
合計		10	1	3	6	0.27	1	3

第3表 危険物施設における流出事故に係る重大事故の概要（令和7年中）

発生件数等 製造所等の別		重大事故 発生件数	重大事故の内訳		1万施設 当たりの 重大事故 発生件数	被害	
			人的被害 指標	流出被害 指標		死者数	負傷者数
製造所		0	0	0	0.00	0	0
貯蔵所	屋内貯蔵所	0	0	0	0.00	0	0
	屋外タンク貯蔵所	1	0	1	0.18	0	0
	屋内タンク貯蔵所	0	0	0	0.00	0	0
	地下タンク貯蔵所	3	0	3	0.43	0	0
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0.00	0	0
	移動タンク貯蔵所	2	0	2	0.32	0	0
	屋外貯蔵所	0	0	0	0.00	0	0
取扱所	給油取扱所	1	0	1	0.18	0	0
	第一種販売取扱所	0	0	0	0.00	0	0
	第二種販売取扱所	0	0	0	0.00	0	0
	移送取扱所	0	0	0	0.00	0	0
	一般取扱所	3	0	3	0.53	0	0
合計		10	0	10	0.27	0	0

- ・各数値については、調査中のものがあり、変動することがある。
- ・合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。